

## コロナ禍で加速するインドのデジタル化に米IT関連企業等が大型出資 グーグルやフェイスブック等から約2.6兆円\*の出資を集めるインド財閥「リライアンス・グループ」

インド三大財閥（タタ、ビルラ、リライアンス）の中でも近年デジタル分野を急速に強化しているリライアンス・グループに対する出資額は2.6兆円（2020年4月～10月）\*を突破しました。具体的には、フェイスブックやグーグルなどの米国IT関連企業や米国を中心とした投資ファンド、ソブリン・ウェルス・ファンドなどがそのデジタル部門を担うリライアンス・ジオ・プラットフォームズや小売部門を担うリライアンス・リテール・ベンチャーズなどへ相次いで出資しています。インドへの直接投資額は拡大傾向にありますが、コロナ禍でインドでも様々な分野でデジタル化が加速しており、今後DX分野への投資はさらに拡大することが期待されます。

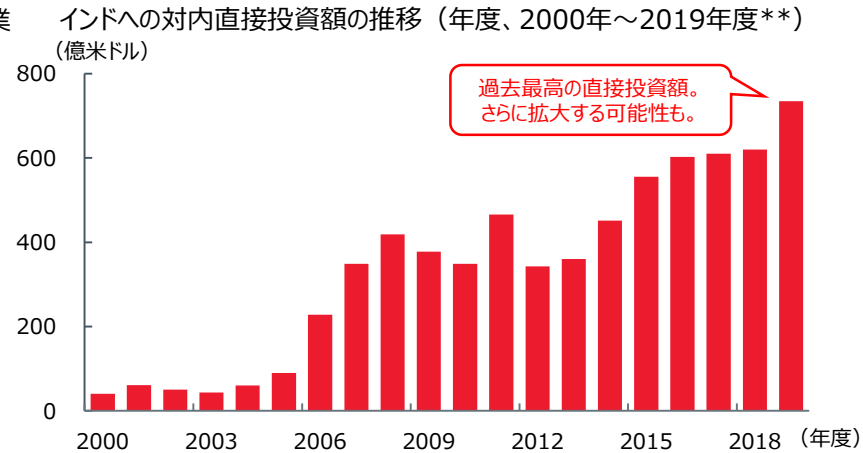
リライアンス・グループへの出資を表明した主な企業（2020年4月～10月発表分）

会社名	出資額（億円）
フェイスブック	6,100
グーグル	4,723
KKR	2,368
インテル	265
クアルコム	102
他に投資ファンドやSWFなど含めて・・・	
<b>合計</b>	<b>約2.6兆円*</b>

リライアンス・グループとは・・・

タタ、ビルラに並ぶインド3大財閥の一つで、インド独立後に創設された新興財閥です。リライアンス・インダストリーズを中核とするインド最大のコンглоメリット企業で、主な事業は石油化学・資源開発・小売・化学繊維などですが、近年は通信や電子商取引などデジタル分野の事業を拡大させています。

出所：インド準備銀行、リライアンス・インダストリーズのプレスリリース、インド商工省、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
\*1ルピー＝1.4円で計算。2020年10月6日まで。\*\*インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2020年度は2020年4月～2021年3月。  
※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。

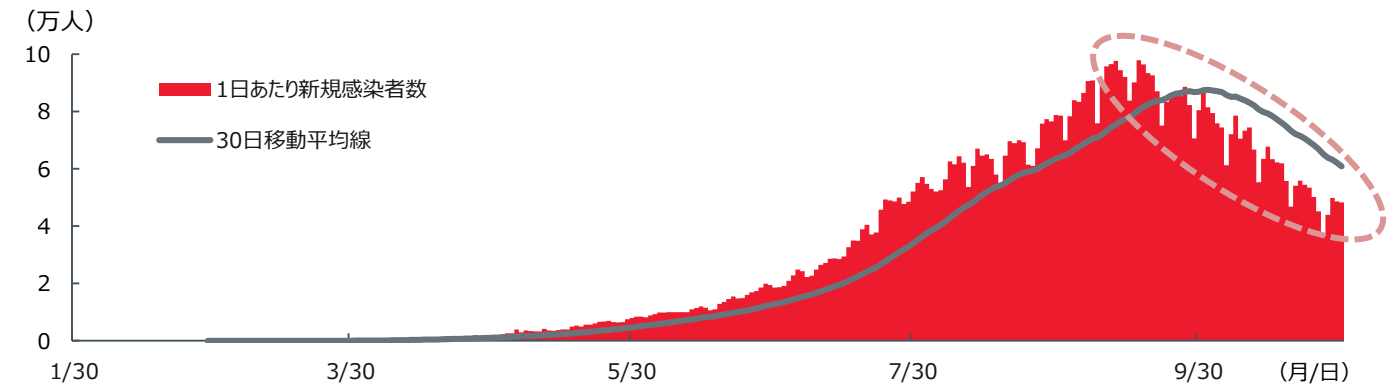


## コロナ禍のインド～現状と今後の見通し～

### コロナ 新型コロナウイルス感染拡大のピークを脱した模様、景気は来年にも回復する見込み

世界的な新型コロナウイルス感染拡大が続く中、インドでも感染拡大が続いてきました。インドの累計感染者数は820万人を超えましたが（2020年11月3日現在）、足元では新規感染者数が減少しておりピークを脱した様子が見られます。

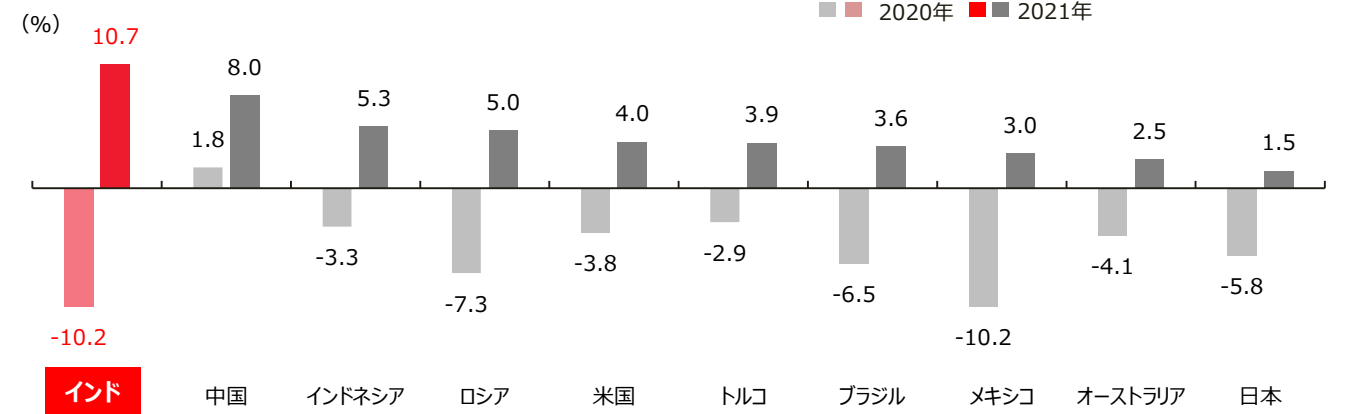
インド国内の新型コロナウイルス新規感染者数推移（日次、2020年1月30日～10月31日）



出所：CEIC、WHOのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インドでは段階的に経済活動が再開されており、OECDによると2021年のインドの経済成長率は主要国の中で最も高い成長率になることが予想されています。

主要国の実質GDP成長率予測（2020年、2021年）

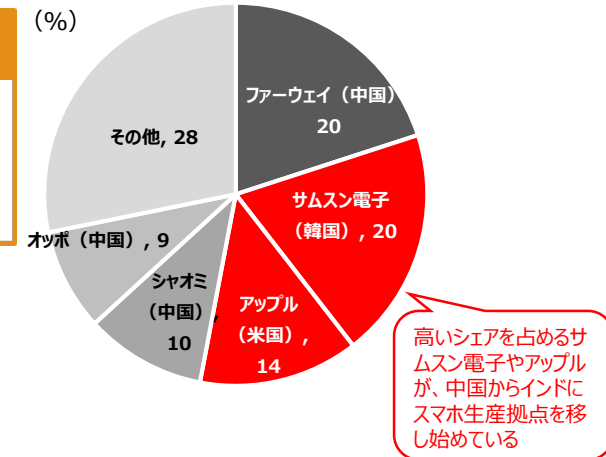


出所：OECD経済見通しの中間報告（2020年9月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## コロナ禍でサプライチェーン再構築が加速、脱中国の恩恵を受けるインド サムスン電子やアップルの受託製造会社がインドでスマホ生産を開始、インドがスマホの生産拠点に

米中対立が長期化するなか、新型コロナウイルスの感染拡大により、中国に偏った企業のグローバルサプライチェーンを見直す動きが加速しています。特に、スマートフォン等の電子機器の生産拠点としてインドが注目されています。2020年4月1日にインド電子情報技術省が発表したPLI（Production Linked Incentive、生産連動型優遇策）にインド国内外の企業22社が申請し、このたび16社が認定されました。認定された16社の中にはサムスン電子やアップルの受託製造会社などが含まれており、世界のスマートフォンのシェア19.5%を占めるサムスン電子と、13.5%を占めるアップルがインドでの生産を拡大させることで、今後中国に代わりインドが世界のスマートフォンの生産拠点になることが期待されます。すでにアップルは南インドにある鴻海精密工業（台湾）とウイストロン（台湾）の工場でのiPhone11の組み立てを行っています。インド政府はPLIにより今後5年間で約16兆円\*相当のスマートフォンを生産し、そのうち約60%が海外に輸出されることを見込んでいます。

世界のスマホ出荷台数シェア（2020年4-6月期）



**PLIで期待される効果（実施期間：5年間）**

- ・新規雇用30万人の見込み
- ・約16兆円（1,540億ドル）\*相当のスマホを生産（約60%をインドから海外に輸出）する見込み

PLI（Production Linked Incentive）とは・・・  
生産連動型優遇策のことで、携帯電話や特定電子部品の大規模製造促進のための優遇策で、インドで製造された対象セグメント製品の売上高の増加分に対して4%から6%の割合が、2020年8月1日から5年間補助金として支払われるものです。

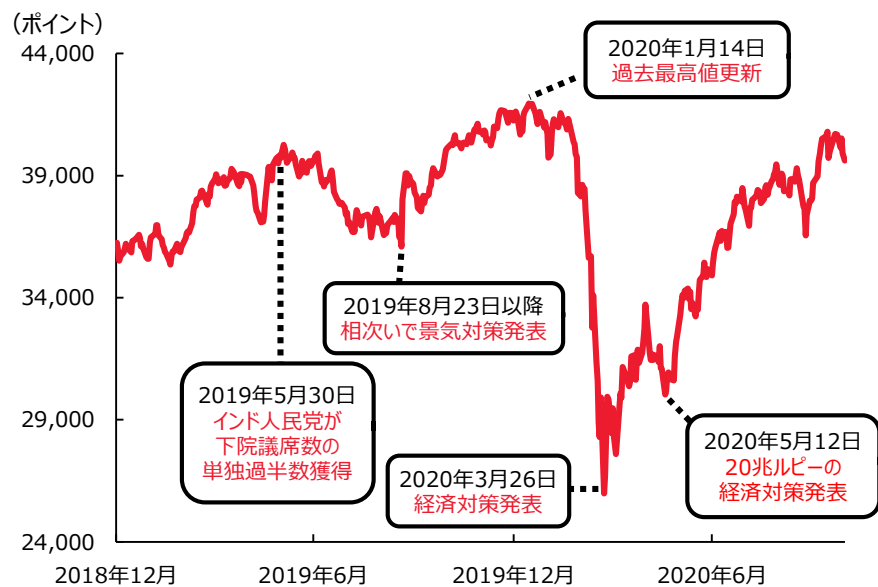
出所：JETRO、各種報道のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
\*1米ドル＝105円で計算。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞  
※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。

## 株式 経済活動が再開され感染のピークを脱しインド株式は回復傾向

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてインド株式は大幅に下落しましたが、経済活動の再開や新規感染者数の減少等をうけて回復傾向にあります。
- 自動車販売など一部の消費は回復し始めており、最悪期を脱した様子が見られます。来年は高い経済成長率が予想されており、さらなる株価上昇が期待されます。

SENSEX指数の推移（日次、2018年12月末～2020年10月末）

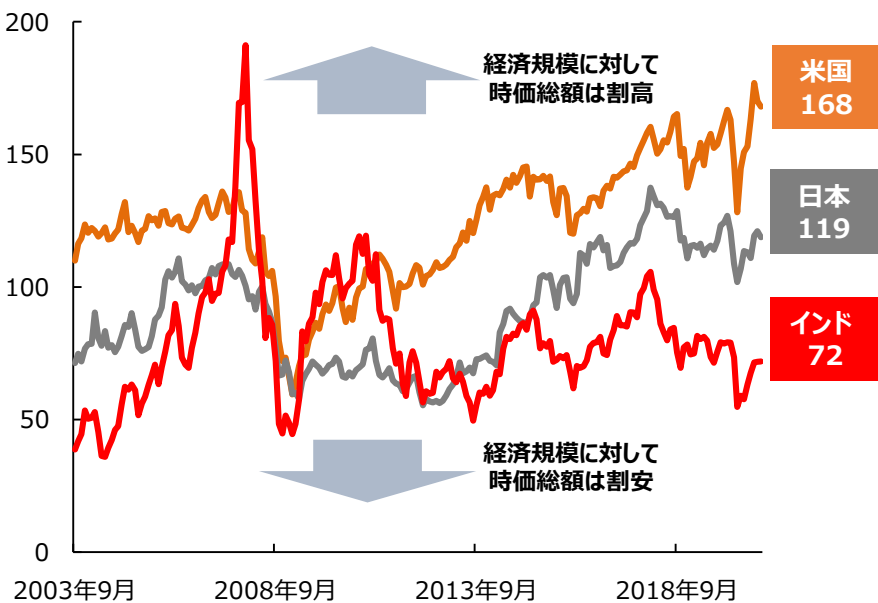


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## 株式 インド株式は相対的に割安な水準

- 一般的に株式市場の時価総額は長期的にその国の経済規模（GDP）に収斂するという前提に立つと、100%以上（時価総額>GDP）は割高、100%未満（時価総額<GDP）は割安と見ることができます。
- インド株式は相対的に割安と考えられ、かつ中長期的な成長が期待されることからインド株式は魅力的と見えています。

株式時価総額の対名目GDP比率\*（月次、2003年9月末～2020年10月末）

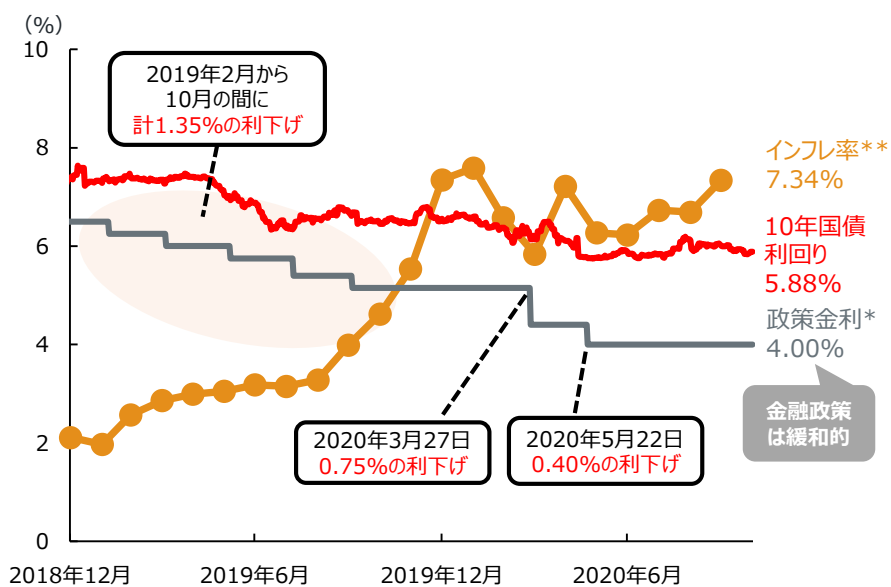


出所：Bloomberg L.P.、IMF世界経済見通しデータベース（2020年10月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。\*株式時価総額の対名目GDP比率は、Bloombergが集計した各月末時点の各国取引所の時価総額（全て米ドルベース）を暦年末（インドは年度末）時点での名目GDPで除したものの。

## 債券 コロナ対策で2回利下げ、インフレ率低下で追加利下げ期待

- インド準備銀行（中央銀行、RBI）はコロナ対策として利下げを行いました。昨年末にかけて上昇していた食品価格が目立って下がっていないことに加えて、都市封鎖（ロックダウン）による供給面の混乱によりインフレ率が上振れており、その後の追加利下げは見送られています。
- 経済活動の再開により供給面の混乱は解消に向かうと見られており、インフレが落ち着いて来れば追加利下げが行われると見られています。

政策金利\*・インフレ率\*\*・10年国債利回りの推移（日次\*\*2018年12月末～2020年10月末）

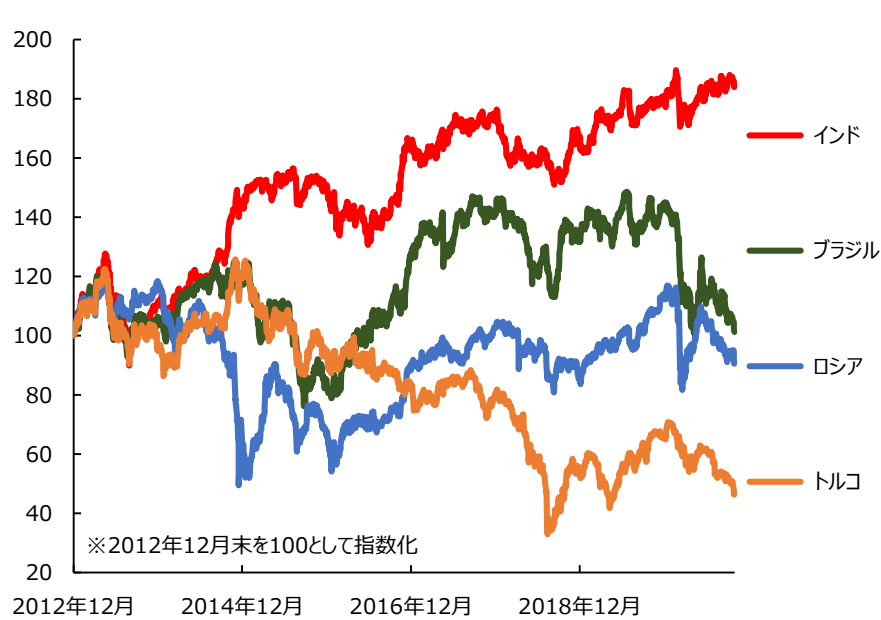


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
\*レボ金利、\*\*消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次、2020年9月まで。新基準（2012年=100）による統計を使用。

## 債券 インド国債は海外市場の影響を受けにくく良好なリターン

- インドでは外国人投資家に対する投資規制が設けられており、インド国債の外国人投資家保有比率が低く、海外市場の影響を受けにくいという特徴があります。
- 新興国国債は高利回りが魅力である一方、為替の影響も大きい傾向があります。インド国債は、外国人投資家の影響も小さく、為替の値動きも相対的に安定しており、良好なリターンとなっています。

各国国債のトータルリターン（日次、円換算ベース、2012年12月末～2020年10月末）

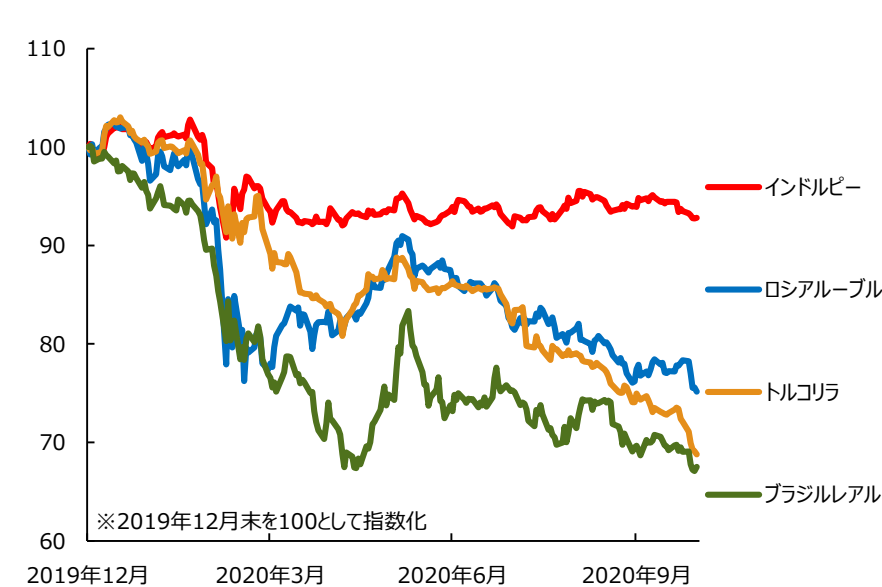


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※各国国債のトータルリターンはJPモルガンGBI-EMの各国指数（現地通貨ベース）を円換算したもの。  
※JPモルガン指数はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 為替 ルピー（対円）はコロナ禍で下落も相対的に安定推移

- インドルピー（対円）は新型コロナウイルス感染拡大の影響により投資家心理が悪化し下落しましたが、その後は緩やかに回復しており、他の新興国通貨と比べて底堅く推移しています。
- インドの外貨準備が過去最高水準に積み上がる中、今後インドルピーは直接投資の流入等に支えられて、安定的に推移することが予想されます。

主要新興国通貨（対円）の推移（日次、2019年12月末～2020年10月末）

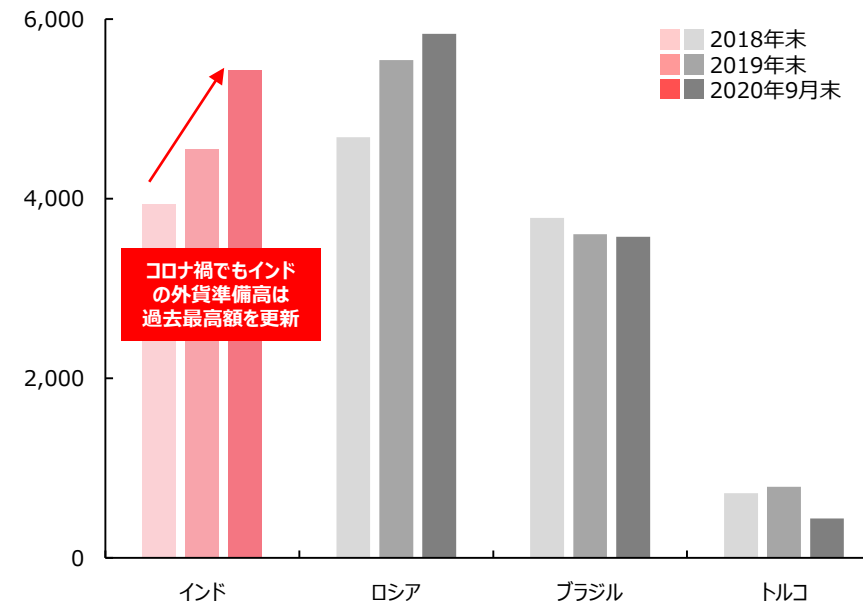


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## 為替 インドの外貨準備は過去最高を記録、ルピーの下支え要因に

- 一般的に、外貨準備は対外債務の返済や輸入代金の決済等で使われる外貨資産のことで、為替介入でも使われます。
- コロナ禍でもインドは外貨準備を積み上げ、過去最高を記録しました。豊富な外貨準備がインドルピーを下支えするとみられます。

主要新興国の外貨準備高（月次、米ドルベース、2018年末～2020年9月末）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。